

富岡東女子14大会ぶり栄冠

剣道

(高知・南国市立スポーツセンタ)

【男子】団体予選リーグA組④
鳴瀬潮1勝2敗▽B組③城北1
勝1分け1敗▽C組②阿南光1勝
1分け1敗▽D組③徳島文理1勝
2敗

▽決勝 星福国際3ー1新田
星福国際は初優勝。

【女子】団体予選リーグA組④
阿南光3敗▽B組①富東3勝▽
C組②城北2勝1敗▽D組③徳島



14大会ぶりに優勝旗を手にした
剣道女子の富岡東 (提供写真)

3年生冷静な試合運び

1年伊藤が、白木監督から先鋒(せんぽう)起用を伝えられたのは、試合当日の朝だった。

「常に本番を想定して練習しているので緊張はしなかった」と伊藤。開始30秒はじっと相手の出方を探

文通1勝2敗
▽決勝トーナメント準決勝 富岡東2ー0 済美
岡東2ー1 高松商 ○伊藤 メグー 若松 福岡 樋口
○森長 メグー 増田 中村 宇和川
▽決勝 横山 吉井 勝

り、得意の飛び込みメンとコテで白星。「絶対勝って先輩につなげたかった」。富岡東女子の14大会ぶりの頂点へ、堂々と口火を切った。

決勝メンバーの他の4人は今夏が最後となる3年生。次鋒森長は引きメンで先行されたが慌てなかった。相手を懐深く引き込み、メンを連取。鮮やかな逆転勝ちで「次鋒次第で流れが変わる。役割を果たせてよかった」と汗を拭いた。

勝負を決めたのは4番目に登場の副将福岡だ。この時点で富岡東の2勝1分け。「勝ちがない相手は前に出てくるしかない」と読んでいた。自分から攻めていく積極派だが、相手の攻撃をいなしながら冷静に試合を運び、価値ある引き分けに持ち込んだ。

昨年は代表戦の末、優勝を逃しただけに喜びもひとしお。ルーキーの勢いと3年生の落ち着きがかみ合った栄冠に、福岡は「いい感じで全国総体に臨める」と終始笑顔だった。

(平尾貴宏)

徳島男女とも制す

剣道

【男子】団体1回戦 鳴教大付
1(代表勝ち)1(廻)大麻・鳴門、勝浦5〇薙住東、小松島5〇山城、薙住21城ノ内

【女子】団体1回戦 武道館
1(代表勝ち)1(廻)板野411羽浦、鴨島311(廻)木頭・相夫、阿南5〇国府、阿南21阿波、松茂4〇富岡東

2回戦 徳島21〇鳴教大付、小松島4〇勝浦、薙住41〇半田

阿南準決勝勝 徳島2代表勝ち



女子団体決勝・徳島对小松島 先鋒戦で積極的に攻める徳島の茨木(右) 〓鳴門ソイシヨイ武道館(山田旬撮影)

前回決勝の雪辱果たす女子

昨年の県総体と同じメンバードで臨んだ徳島が、5年ぶりに女王の座をつかんだ。前回決勝で敗れた小松島と再び決勝で対戦。3-0で快勝し、選手たちは「雪辱を果たせた」と目を赤くほらして喜んだ。

先鋒(せんぼう)の茨木の攻めの意識が流れを引き寄せた。序盤でドウを先行されても焦らないう。直後、相手が受け身になった隙を逃さず、得意の飛び込みメンで追いついた。終了間際には出ゴテを決めて逆転し先勝した。

茨木の勝利が昨年敗れた次鋒清水、中堅大原の気持ちに響いた。清水が開始1分以内に2本勝ちを取め、優勝に王手を懸けると、続く大原が開始30秒でメンを打ち込みそのまま逃げ切った。大原は「前の2人の勝利で落ち着いて臨めた」と振り返った。

5人は昨年の敗戦の悔しさをばねに、心技を鍛え直した。昨年11月の県新人大会は優勝、5月の県選手権はベスト4と結果を出した。さらに全国大会での戦いを見据え、県外遠征で格上相手に実戦を積んだ。その結果、優勝決定後も副将坂東、大将橋本と気を緩めることなく戦い抜いた。それでも橋本主将は「最後まで強い気持ちで臨めるように、もう一度鍛え直すと、表情を引き締め直した。」

チームは5月の県選手権で2連覇した勢いを保持込んだ。「1本1本を確実に取る練習を続けてきた」という中岡に加え、先鋒(せんぼう)で勝利した川添も得意のメンで2本勝ちを取めて「練習の成果を出せた。」一方、次鋒戦から副将戦までは1本を取らず、中堅坂本は「攻勢を緩めない相手に押され、攻めきれなかった。全国では勝つ」と気持ちを切り替えた。

2薙敷、那賀川31徳島文理
〓決勝
徳島 212 那賀川
代表勝ち
川添 ヌー 鹿島
篠原 ヌー 阿井
坂本 1 柏原
西尾 1 ドウ 河田
〓中岡 ヌー 西岡
〓代表戦
〓中岡 ヌー 西岡
〓中岡 ヌー 西岡
【女子】団体1回戦 石井51
〓北島(廻)薙敷・木頭312
(廻)鳴門1・大麻、勝浦312
土成、薙住東31〇勝浦、半田31
1(代表勝ち)富岡東411阿波、鳴教大付31城東2回戦 南部5〇〇〇羽浦21鴨島1回戦 阿南準決勝勝 徳島2代表勝ち



男子団体決勝・徳島対那賀川 代表戦で優勝を決めた徳島の中岡(右)

〓決勝
徳島 31〇 小松島
〓茨木 ヌー 増尾
〓清水 ヌー 鈴木
〓大原 ヌー 園田
坂本 1 澤口
橋本 1 桑田
エースが決める
〓：徳島男子はエース中岡が勝負を決めた。1-2で迎えた大将戦終了間際、中岡はコテ狙いの相手より速く飛び込み、メンを決めてタイに持ち込むと、代表戦も粘り強く攻めてメンを奪った。「全国に行きたい一心で攻めた」と表情を崩した。



「刹那」

徳島科技2年 桑原 杏奈

青春の輝き この一枚に

輝く夏へ 挑む県勢

全国高校総体 あすから九州など

力結集 初の日本一狙う

剣道女子・富岡東

全国高校総合体育大会（インターハイ）が22日から8月20日にかけて北部九州4県（福岡、佐賀、長崎、大分）を舞台に開かれる。全国47都道府県の総体やブロック予選を勝ち抜いたチーム、選手が31競技で熱戦を繰り広げる。一部競技は北海道、福島、和歌山の3道県で行われ

る。徳島県からは30競技に489人（男子286人、女子203人）が出場。団体は、剣道女子の富岡東の躍進に期待がかかる。個人種目では陸上のトラック、フィールド、投てきのほか、重量挙げなどで上位入賞が見込まれる。注目チーム・選手の抱負や決意を紹介する。



インターハイで活躍が期待される富岡東女子剣道の選手たち＝同校（張末波撮影）

6月の四国高校選手権 大生野の中核中心に地を14大会ぶりに制し剣道のある選手がそろい、道女子団体の富岡東。選初の日本一に総合力で挑む。相手の動きも状況に応じてコテやバ、突き

が打てる方術で、試合でも冷静な判断ができるのが強みだ。中村が大将にたまた安心して戦えると言われれば、仲間の信頼は厚い。技術のある福間は先鋒（せんぽう）や思い切り（せんぱう）の長をどうにか次鋒を勝つとが多かったものの、白木恒（びやくへい）と副将を担ぎ、決勝で先鋒を倒す。白木恒は責任感を認められ、四国選手権では全試合、副将を担ぎ、決勝で先鋒を倒す。白木恒は責任感を認められ、四国選手権では全試合、副将を担ぎ、決勝で先鋒を倒す。白木恒は責任感を認められ、四国選手権では全試合、副将を担ぎ、決勝で先鋒を倒す。



インターハイに向けて練習に励む富岡東女子剣道の選手たち＝同校

2024年(令和6年)8月5日

北部九州 インターハイ

女子団体予選リーグ・福岡東対中村学園女子 果敢な攻めで次鋒戦を制した福岡東の森長(左) Ⅱ大分市のレブナック武道スポーツセンター(鈴木宗一郎撮影)



福岡東女子 予選敗退

剣道

(天谷稟レナック武道場)

坪内優 玉垣一樹 長野 佐ヨメメ (阿蘭光) 久長 久長 (阿蘭光) 向井 崇章 藤原高也 三重 鈴 城北	【女子個人1回戦】 中村学園女 2-1 福岡東 川田 伊藤 萩原 森長 吉松 横山 福岡 福山 橋本 中村 健大高崎 3-0 福岡東 (群馬) 塩谷 ムメ 伊藤 木村 ムメ 森長 飯島 ドーメ 横山 相田 ムメ 福山 福田 ムメ 中村	▽同予選リーグブロック順位 1位は決勝トナメントへ③ 高岡東が敗
---	---	--

強豪校を崩せず

○春の全国選抜大会に出場し、四国チャンピオンとして挑んだ剣道女子の福岡東だが、予選リーグ2敗で決勝トナメント進出を逃した。中村主将は「全員が悔しい気持ちでいっぱい」と声を絞り出した。

1試合目の中村学園女(福岡)戦。先鋒(せんぼ)と、副将、大将が敗れた。次鋒森長が上段の構えから積極的に攻めてコテで1本勝ちし、中堅横山も引き分けるなど粘ったが、副将福岡、大将中村は、インターハイ優勝経験もある強豪校の隙のない攻めに手こずり、崩しきれなかった。続く健大高崎(群馬)戦も0-3で敗れ、中村主将は「惜しい場面もたくさんあったが、取り切れなかった」と話した。

2024年(令和6年)8月6日

中村(福岡) 8強 個人女子

剣道

(天谷稟レナック武道場)

九州学院 2-1 城北 熊本 北 近本 大石 竹本 渡辺 山元 ムメ 橋本 大平 蔵本 森 ムメ 藤原	【女子団体予選リーグブロック】 四天王寺東 3-1 城北 (大阪) 板東 北 橋本 渡辺 加藤 ムメ 蔵本 金丸 ムメ 蔵本 今井 ムメ 蔵本 石塚 ムメ 藤原	▽予選リーグブロック順位
---	---	--------------

1位は決勝トナメントへ③
城北が敗

【女子個人1回戦】
森長未来 中瀬綾乃
(福岡東) 取 蔵・鳥

▽2回戦
大塚愛莉
(福岡東) 三重・三

▽3回戦
森長未来
(福岡東) 藤田日心

▽4回戦
中村莉音
(福岡東) 身吉里桜

福岡東・中村莉音(女子剣道個人戦で6日の準

々決勝に進出)「先の団体戦で敗れた悔しさをばねに、チーム全員を乗せて臨んだ。インターハイで日本一になれるように頑張りたい」という夢を絶対に叶えたいという思いを込めて臨んだ。インターハイで日本一になれるように頑張りたいという夢を絶対に叶えたいという思いを込めて臨んだ。



城北・蔵本望海主将(昨年優勝の九州学院に逆転負け)「相手の攻撃に気後れてしまし



るもあった。強豪チームは一人一人がやるべきことをやっていてレベルの高さを感じた。選手全員がチームのことを考えて戦えたことは良かった

2024年(令和6年)8月7日 水曜日

全国高校総体第16日は6日、大分県のレゾナック武道SCなどで8競技が行われた。徳島県勢は、剣道女子個人戦で8強入りした中村莉音(富岡東)が準々決勝で敗退。アーチェリーの団体予選は徳島科技の男子が46

北部九州 インターハイ

第16日

位、女子が39位で、決勝ラウンドに進めなかった。カヌーはカナディアンフォアで那賀が予選1組7位で通過したが、準決勝で姿を消した。7日は福岡県北九州市立総合体育館での新体操など6競技が行われる。



剣道女子個人準々決勝 果敢に攻め込む富岡東の中村(大分市のレゾナック武道入ボツセンター(白)下彩撮影)

中村(富岡東) 4強逃す 個人女子

剣道	
九州学院は2年連続1度目の優勝	九州学院
▽個人決勝	山下剣希(大分・明徳)
▽個人準々決勝	森風介(熊本・九州学院)
中村学園女 4-0 学園(熊本)	中村学園女
中村学園女は2年ぶり7度目の優勝	中村学園女
▽個人準々決勝	八代白百合(熊本)

橋本陽菜(福岡・中メ)	中村莉音(富岡東)
▽個人決勝	
村学園女	
村学園女	
川田莉子(福岡・中)	
村学園女	

積極的な攻め実らず

女子個人準々決勝で中村莉音(富岡東)が対戦したのは、4日の団体予選リーグの大將戦で引き分けた橋本(中村学園女)勝利を目指し積極的な攻めが、一瞬引いて守った隙を突かれ、メン2本で敗れた。二つでも多く

勝ち進みたかったので悔しい。攻め返せる力が足りなかった。中学卒業後に地元の兵庫県を離れ、寮生活しながら仲間と技を磨いた。気付いた課題や反省点をノートに書いて監督にコメントをもらい、自

分の剣道を見直した。ノートは3年間で10冊以上になる。「富岡東を選んで良かった」。前日の初戦2回戦から3試合を勝って8強入りは果たせた。「きょうの試合を忘れず、大学に進学しても努力して日本一になりたい」と、向上心を口にした。(越智浩子)

徳島女子は準優勝



最終日

第62回四国中学校総合体育大会(四国中体連など主催)最終日は7日、愛媛県武道館で剣道の個人・団体戦が行われた。徳島県勢は女子団体の徳島が決勝で龍雲(香川)に敗れ準優勝だった。17日までに北信越ブロックで開幕する全国中学校体育大会(全中)の出場チームが出そろった。

剣道

白石	メ	川野	坂東	橋本	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川
中島	メ	坂本	橋本	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
高橋	メ	西尾	橋本	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
後藤	メ	中岡	橋本	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
松北は初優勝。										
松北は初優勝。										
個人準々決勝										
理	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
勝	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
神野	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
大和	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
神野	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
後藤	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
松北	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
【男子】団体選り分けA組										
1勝	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
2勝	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
3勝	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
4勝	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
5勝	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
6勝	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
7勝	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
8勝	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
9勝	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
10勝	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
11勝	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
12勝	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
13勝	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
14勝	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
15勝	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
16勝	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
17勝	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
18勝	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
19勝	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島
20勝	メ	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島	成川	徳島

2024年(令和6年)8月3日 土曜日

地域総合 (24)

小中学生剣士 警察官と稽古 阿南署

阿南署は、管内の小中生ら13人に剣道の技術や礼儀作法を指導する合同稽古会を署の道場で開いた。地域課所属で全国的にも珍しい二刀流で8段を持つ山名信行警部補、7段の川添義仁警備課長、県警OBで7段の敦賀晋平さん、阿南富岡東郵便局長ら5人が指導した。

稽古会では「左足でしっかり踏み込んで」「おなかや背中に力を入れて、体全体を使って移動しよう」と助言。胴や小手などの基本技を手ほどきした後、実戦形式で小中学生の技を受けける指導稽古を行った。署には高段者が多く、剣道に励む小中学生の競技力



川添警備課長(右端)・山名警部補(左端)から指導を受ける子どもたち=阿南署

向上や育成につなげようとして企画した。那賀川中2年で剣道部主将の大西華さん(13)は「普段の練習より詳しく教えてもらった。7月30日にまた参加したい」と汗をぬいた。南谷雅彦署長は「稽古を通じて礼儀や人を敬う心を学び、心技体を磨いてほしい」と語った。

(富士佳輝)

2024年(令和6年)8月25日

月刊

第3種郵便物認可

阿波市市場町八幡の坂本憲一さん(76)が居合道で最高位の称号「範士」を、全日本剣道連盟から授与された。名実ともに認められなければ与えられないもので、県内では現在、坂本さんを含め2人

しかいない。坂本さんは「責任の重さをひしひしと感じている」と話している。

阿波市の坂本さん

居合道最高位「範士」に



居合道の範士の審査は5月に京都市であり、舞台芸術を担当し、展覧は、8段取得から8年以合格したのは39人中、坂本さんら3人という狭き門だった。編集に携わった。長時間のデスクワークで腰痛を患ったのをきっかけに、本剣道連盟が指導者として卒業後、県郷土文化会館運動不足解消のため36歳での実績や人格などを総(現あわぎんホール)に就職。歴史と民俗部門、20代の頃から徳島の郷

普及への貢献評価 生涯現役へ意欲

士刀を研究し、実際に刀を扱うことへの関心もあったことから、昇段するにつれてのめり込んでいった。

1982年には道場「阿波居合道伝習会」(阿波市市場町)の創部に関わり、現在は会長を務めている。城西高校(徳島市)や鳴門教育大学といった教育現場でも指導するなど、居合道界の普及・発展に貢献してきた実績が認められた。

坂本さんは「追求すればするほど奥深さを感じる。生涯現役で居合道の発展をお手伝いしていきたい」と語った。

全日本剣道連盟によると、居合道の競技人口は約20万人。居合道の範士は6月1日時点で全国に51人いる。(福寿美結)

居合道で「範士」の称号を授与された坂本さん(本人提供)

全国わずか2人 二刀流 剣道8段

阿南署 山名警部補



阿南署員と研さんに励む山名警部補(右)＝同署



山名警部補

阿南署地域課に所属する山名信行警部補(49)＝徳島市国府町＝が、剣道で全国に2人しかいない「二刀流」での最高段位8段として、後進の育成に励んでいる。警察官の業務をこなす傍ら、日本代表選手らの強化に尽力するなどしており「剣道の魅力を伝えていきたい」と意欲を示す。

山名さんは右手に太刀、左手に小太刀を持って戦う。昨年11月に都内であった審査会で、合格者30人(合格率0.6%)の狭き門を突破し、8段への昇段を果たした。

全日本剣道連盟(東京)によると、二刀流剣士の8段昇段は7年ぶり。過去25年間では2人しか合格者がおらず、現役で活躍する剣士も2人だけという。

連盟の要請を受け、イタリヤで行われた7月の世界選手権に出場した男子日本代表チームの強化合宿(今年2月15日、18日、奈良市)に参加。海外チームに多い二刀流選手対策の指南役として実戦形式

独自で習得 後進育成に尽力

で剣を交え、代表選手から「二刀流の国内トップと対戦できた経験は大きい」と感謝されたという。対策の効果もあって、日本代表は団体戦で優勝した。

京都市出身の山名さんは小学3年で剣道を始めた。国際武道大千葉県)在学中に約400人が在籍していた剣道部でレギュラーを勝ち取ろうと、二刀流の練習を独学で開始。剣豪・宮本武蔵が残した古い書籍を読むなどして構えや基本技を習得し、小太刀で相手の竹刀をはじき、太刀で攻撃を仕掛ける独自のスタイルを構築した。

二刀流の指導者は当時からほとんどおらず「毎日竹刀を振って何が自分に合っているか試行錯誤した」と振り返る。

1998年に徳島県警に採用された後、国体など数々の全国大会に県代表として出場。2001年の全国警察剣道大会で団体優勝するなど実績を重ねている。

現在は署の道場で自らの技術を磨きながら、実戦形式で後輩署員らからの打ち込みをさばく指導稽古などに汗を流す。二刀流を学びたい国内外の有段者を対象にした講習会を今年10月に山口県で計画するなど後進の育成に余念がない。「まだまだ未熟。武の道に終わりはなく、今後も研さんを積んでいく」と表情を引き締めた。

(富士佳輝)

2025年(令和7年)1月20日

乗斥 月旦

第3種郵便物認可



「クリックして、エクセルの勉強。」「WEEDルのファイルを開いてください。画面を移動させると、自動的に入るう年も計算して、スクロールバーで動かせるですよ」。元喫茶店内の白い壁に、プロジェクターでパソコンの画面が大きく投影される。指示棒で示しながら教えるのは、小松島市で高齢者対象の無料教室「ロダン・パソコン・スクール」を主宰する澤井勝之さん(83) 同市堀川町だ。

教室兼自宅の屋根には、フランスの彫刻家・ロダンの銅像「考える人」のレプソージー動画を作成したり力が飾られている。喫茶店名にちなみ、亡父が手がけたものだ。銅像を目印にして、毎週火、水、金曜、それぞれ10人ほどが集まる。生徒は全員60歳以上で、中には90歳近い人もいる。ある日の授業は、万年カレンダー作成を通じたエクセルの勉強。元喫茶店の白い壁に、プロジェクターでパソコンの画面が大きく投影される。指示棒で示しながら教えるのは、小松島市で高齢者対象の無料教室「ロダン・パソコン・スクール」を主宰する澤井勝之さん(83) 同市堀川町だ。

教室では、インターネットやメールのほかワード、エクセルといった基本的な使い方を指導。写真をパソコンに取り込んで水彩画風や絵手紙風に仕上げたり、クリスマスや新年のメッセージ動画を作成したりもする。単に技術を教えるのではなく、生徒の希望を聞きながら、できること増やしていくスタイルだ。

モットーは「楽しく、ゆっくり、分かりやすく」。

スクール卒業生の2人が補佐講師としてサポートしな

小松島で高齢者パソコン教室主宰 澤井勝之さん(83)

「楽しく、ゆっくり」授業



生徒にパソコンの使い方を教える澤井さん(右) 小松島市堀川町のロダン・パソコン・スクール

から、丁寧な口調で進めていく。生徒から何度同じ質問をされても、笑顔で答える。「さっきも言ったよ」と笑い声がはじける。

元高校教師で保健体育を担いで来た。今ほどパソコンが使われていなかった時代から、教材作成や成績管理に活用。40代で鳴門教育大学院で学び直した際、教室を構えた。

指導教材は手作り。さらに生徒が持ち込むパソコンの相談や修理も請け負う。一方、作業机に向かうばかりではない。研鑽を積み重ねてきた武道家で、剣道7段、柔道4段、空手5段、杖術4段の腕前を誇る。今でも各地の剣道場に赴き、自らを鍛えて健康を維持している。

「おかげさまで、病気が寄りつく暇がない生活。これからも生徒の皆さんが生きていける場を続けたい」。いっしょになっても生き生きと輝く人々の姿を、「考える人」が見守り続けている。

も、自らプログラムを組んで論文データベースをまとめるなど愛用していた。退職後も県シルバード大学院や徳島文理大で教壇に立った。そんな折、高齢者が情報化の時代に取り残されたいよう、地域貢献の一環としてスクール開校を決めた喫茶店スペースを改装し、教室を構えた。

「おかげさまで、病気が寄りつく暇がない生活。これからも生徒の皆さんが生きていける場を続けたい」。いっしょになっても生き生きと輝く人々の姿を、「考える人」が見守り続けている。

(佐藤陽香)

剣道スポーツ少年団大会 阿南チーム全国制覇

剣道の第47回全国スポーツ少年団交流大会で、徳島県代表の「阿南市A」チームが団体戦で優勝した。県剣道連盟と県剣道道場連盟によると、県勢が小学生世代の全国大会で団体優勝するのは初めて。

(25面に関連記事)

大会は3月28〜30日に大分市であり、全国から48チームが参加した。

阿南市Aは、先鋒に南小松島小5年野村拓未さん(10)、次鋒に羽ノ浦小6年高橋明里さん(11)、中堅に那賀川中1年大西光さん(12)、副将に富岡小6年岩浅詩さん(11)、大将に那賀川中1年宮武颯詩さん(12)という布陣。予選リーグを1位通過し、16チームで争う決勝トーナメントに進んだ。北海道代表との決勝戦では、2分け1敗から逆転した。

宮武さんは「苦しい試合が続いたけど、全員が自信を持って試合に臨めた」と振り返った。県剣道連盟の藤川和秋会長は「歴史的な快挙。他の選手にとっては徳島のような小さな県からでも優勝できるという目標にもなる」と話した。

(富士佳輝)

【紙面編集】滝本昇

スポ少剣道全国優勝 阿南市A 強豪との実戦練習奏功

剣道の全国スポーツ少年団交流大会で、県勢初の日本一に輝いた阿南市Aチーム。大会に向けて県外遠征などを精力的にこなし、磨いた技術や接戦に競り勝つ精神力を発揮した。(1面参照)

チームは市内の3道場に所属する5人で構成。監督を担った徳島剣道塾の河田清実代表(70)は同市那賀川町上福井は個々の能力を高めようと、合同練習や県外遠征を実施した。今年1月から岡山、兵庫両県の練習会に計4回出向き、中西国や近畿の強豪と試合を重ねたほか、2月には阿南市内に滋賀、和歌山など4県の代表チームを招いて腕を磨いた。合同練習では技術や体格で勝る中学生との実戦練習を積極的に取り入れた。

全国大会ではこうした練習の成果

精力的に県外遠征 腕磨く

を發揮した。副将の富岡小6年岩浅詩さん(11)は「強い選手との対戦でコテのよけ方など自分の弱点を克服でき、実際に全国大会ではコテを1本も取られなかった」と上達を実感する。

鹿児島県代表との準々決勝。2勝1敗1分けで迎えた大将戦に臨んだ那賀川中1年宮武颯詩さん(12)は残り5秒でメンを取られて敗れたものの、代表決定戦では気持ちを切り替え、冷静にコテを決めて雪辱を果たした。「体が反射的に動いた。練習の成果かな」と振り返る。

(富士佳輝)



剣道の全国スポーツ少年団交流大会で優勝したメンバーと河田監督(右から3人目) 阿南市長生町西方

【掲載希望をお寄せください】チーム名、申込者の氏名、住所、電話番号を書いて、郵便番号770-8572(住所不要)徳島新聞社社会部「頑張れスポーツ少年団」係へ。ファクス(088(655)7458)でも受け付けます。

頑張れ **スポーツ少年団**



市場剣道教室

- ◆1976年発足 阿波市
- ◆大野和則監督、選手15人(男子9人、女子6人、こども園~中学1年)
- ◆在籍校 市場かもめ、はやし各こども園 市場、大俣御所、林、八幡各小学校、市場中学校
- ◆練習 週4回
- ◆阿部透真主将のチーム自慢 仲が良く、とにかく声が大きい元気のあるチーム
- ◆目標 県大会優勝
- ◆入部希望などの問い合わせは大野監督、電話090(2)822(7)715

剣道

【掲載希望をお寄せください】チーム名、申込者の氏名、住所、電話番号を書いて、郵便番号770-8572(住所不要)徳島新聞社社会部「頑張れスポーツ少年団」係へ。ファクス(088(655)7458)でも受け付けます。

頑張れ **スポーツ少年団**



新野少年剣道教室

- ◆1983年発足、阿南市
- ◆馬見和秀監督、選手7人(男子3人、女子4人、保育園長~中学1年)
- ◆在籍校 お山保育園、桑野、新野、新野東各小学校、新野中学校
- ◆練習 週2回
- ◆廣瀬剛生主将のチーム自慢 みんな仲良く、大きな声を出して練習している
- ◆目標 日頃の練習の成果を発揮できるように攻める試合をする
- ◆入部希望などの問い合わせは馬見監督、電話090(5)143(6)8890

剣道

2025年(令和7年)1月23日

剣道

石井少年剣道クラブ

- ◆1981年発足、石井町
- ◆近藤正章監督、選手16人(男子7人、女子9人、年長小学1〜6年)
- ◆在籍校 高越こども園、高原、石井、高川原、藍畑、山川、入田各小学校
- ◆練習 週2回
- ◆切東光主将のチーム自慢 学年関係なく仲が良く、アドバースし合える
- ◆目標 3月に町内である大会で優勝する
- ◆入部希望などの問い合わせは近藤監督 電話090(3227)7115



2025年(令和7年)3月13日

海部川剣道教室

- ◆1981年発足、海陽町
- ◆鳥澤武志代表指導者、選手6人(男子5人、女子1人、小学1〜3、5年、中学2年)
- ◆在籍校 海部、海南、穴喰、牟岐各小学校、海陽中学校
- ◆練習 週2回
- ◆古波凌一主将のチーム自慢 学年関係なく仲良しで、練習中は活気がある
- ◆目標 団体・個人両部門で一つでも多く勝つ
- ◆入部希望などの問い合わせは鳥澤代表、電話090(1570)07305



(23) 地域総合

2025年(令和7年)3月20日 木曜日

徳島

【掲載希望をお寄せください】チーム名、申込者の氏名、住所、電話番号を書いて、郵便番号770-8572(住所不要)徳島新聞社社会部「頑張れスポーツ少年団」係へ。ファクス(088(655)7458)でも受け付けます。

頑張れ **スポーツ少年団**

徳島剣清塾



- ◆2018年6月発足、阿南市
- ◆河田清実代表、32人(男子19人、女子13人、保育園～中学3年)
- ◆在籍校 お山保育園、富岡、横見、羽ノ浦、長生、桑野、今津、見能林、中野島、相生、南小松島、新開各小学校、富岡東、那賀川各中学校
- ◆練習 週3回
- ◆水口萌香主将のチーム自慢 基本を大事に稽古する。声をかけ合い、チームワークを高めて試合に臨んでいる
- ◆目標 大会の団体戦は全て優勝し、個人戦も上位入賞を果たす
- ◆見学希望などの問い合わせは河田代表、電話090(1579)7001

剣道

(25) 地域総合

2025年(令和7年)3月27日 木曜日

徳島

【掲載希望をお寄せください】チーム名、申込者の氏名、住所、電話番号を書いて、郵便番号770-8572(住所不要)徳島新聞社社会部「頑張れスポーツ少年団」係へ。ファクス(088(655)7458)でも受け付けます。

頑張れ **スポーツ少年団**

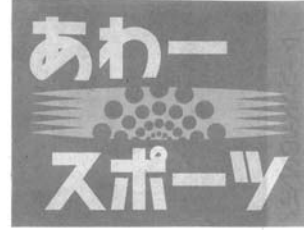


淳志館

- ◆1983年発足、東みよし町
- ◆庄嶋亮道場長、選手15人(男子11人、女子4人、小学1～6年)
- ◆在籍校 昼間、足代
- ◆練習 週2回
- ◆湯々悠生主将のチーム自慢 みんな楽しく、協力し合って練習している
- ◆目標 いろんな大会で優勝する
- ◆入部希望などの問い合わせは庄嶋道場長、電話090(2457)8140

剣道

2024年(令和6年)4月8日



剣道

(左から) 岩浅、
祖川、高野、河田



◆全国選抜成武館道場創立55周年記念大会(3月24日・愛媛県武道館)
◇徳島関係の左
▽個人戦小学1年生③岩浅晴(徳島剣道)▽同6年生②河田淳紀(徳島剣道)▽団体小学1、2年生①徳島剣道(岩浅晴、祖川結人、高野真絆)

◆第28回藤花杯争奪少年大会(3月2日・石井中学校)
【団体】①誠武館道場(藤山、村瀬、坂本、梶光、梶栄) 坂本圭吾 ②南井上剣道教室(市場剣道教室)③大麻練成館
【個人】1年生①森本美実(養武館)②山出育弥(鴨島少年剣道教室)③森本康太(鴨島少年剣道教室)④森本明季(吉野川少年剣道教室)▽2年生①齋口寧々(誠武館道場)②住友想(阿波少年剣道教室)③池田権(石井少年剣道クラブ)④高志佳(徳島清風館道場)▽3年生①矢野陽希(誠武館道場)②川人綾仁(誠武館道場)③森本方智(養武館)④山出朋弥(鴨島少年剣道教室)▽4年生①瀬尾ひより(市場剣道教室)②山本胡侑(誠武館道場)③六條聖那(石井少年剣道クラブ)④六車友希(聖住剣道スポーツ少年団)▽5年生①高橋知漢(松和会道場)②川野大雅(北井上剣道教室)③山出直弥(鴨島少年剣道教室)④美島雄佑(加茂少年剣道教室)▽6年生①三好琥珀(上浦剣道教室)②森本智(養武館)③藤原一真(北井上剣道教室)④安坂悠乃(阿波少年剣道教室)



団体優勝の誠武館道場(左から) 藤山、村瀬、坂本、梶光、梶栄



個人(左から) 1年~6年の優勝者

2024年(令和6年)4月22日

剣道

◆第46回全国スポーツ少年団交流大会(3月29、31日・A.S.O.K.くんま総合スポーツセンター)
▽順位③徳島県(岩浅詩山、井原、棚橋、山本、京、溜山、浮紀) 全国3位は徳島県勢で初



(右から) 河田、山本、棚橋、山ノ井、岩浅

◆2023年度誠武館道場錬成会(3月31日・北島Y.G.T.ドーム)
▽6年生①孝③義④徳⑤高学年①那智川剣道教室わかあひ会②東生剣道クラブ③日華練心塾④たからつか剣道会⑤低学年①新金簡親子剣道クラブ②誠武館道場△③徳島少年剣道教室④鴨島少年剣道教室

2024年(令和6年)5月14日

剣道

◆第46回山家争奪県下大会
【団体】中学男子①徳島那賀川②徳島文理③鶴敷④同女子①徳島②那賀川③石井④小松島⑤高校男子①阿南光②城北③鳴門渦潮④同女子①高岡東②徳島文理
【個人】10以上勝抜賞①河部未羽(高岡東)10人▽5人以上勝抜賞①三浦 徳島科学技術高⑦人 渡邊大樹 徳島県也以 上城北高⑤人

2024年(令和6年)7月8日



(左から) 武内菜、武内晴、松浦、平田、多川華

◆第5回宮本武蔵顕彰小学生大会
会(岡山県美作市宮本武蔵顕彰武蔵武道館)
◇徳島関係の上位
▽小学生団体◎日亜錬心塾(松浦暖、武内晴、平田華、多川華、武内菜)▽中学生◎日亜錬心塾(多川華、坂口颯、柳生夏希)

剣道



(左から) 柳生、多川寧、坂口



優勝の日亜錬心塾(前列左から) 多川、武内、松浦、平田、中西

◆阿南市教養成会 阿南市武道館
◇徳島関係の上位
▽順位◎日亜錬心塾(松浦暖、武内晴、中西進治郎、平田華、多川華)◎蔵武館



中学生団体優勝の徳島剣清塾 (左から) 鹿島、河田、水口

小学生団体優勝の徳島剣清塾 (右から) 清水、岩浅、水口

◆第6回徳島県選手大会 鳴門VJシヨイ武道館
【団体】小学生◎徳島剣清塾(清水、岩浅、水口)◎日亜錬心塾◎徳島至誠館◎佐古剣道クラブ◎中学生◎徳島剣清塾(鹿島、河田、水口)◎蔵武館◎鳴門VJ光武館◎日亜錬心塾
小学生の徳島剣清塾、日亜錬心塾、徳島至誠館と中学生の徳島剣清塾、蔵武館は全国大会(7月30日・東京都)に出場



【個人】小学生男子◎武内晴◎和含◎平野大翔◎佐古剣道クラブ◎高野太◎徳島至誠館◎同女の松浦暖◎日亜錬心塾◎高橋明里◎徳島剣清塾◎岩崎(徳島剣清塾)◎平田華◎日亜錬心塾◎中学生男子◎徳島至誠館◎佐古剣道クラブ◎岩崎◎鹿子陽史◎日亜錬心塾◎同女の出口純輝◎日亜錬心塾◎岩花◎徳島剣清塾◎多川華◎日亜錬心塾◎坂口颯◎日亜錬心塾◎個人優勝者は全国大会(10月・神奈川県)に出場

個人優勝の(左から) 松浦、武内、出口、篠原

2024年(令和6年)7月22日



上位入賞者

◆第4回徳島板野防犯少年大会 (6月2日) 松茂町第一体育館
▽小学生村瀬いほ(蔵武館)◎橋本南◎蔵武館◎福光南◎蔵武館◎露口航士朗◎蔵武館◎森中學生◎坂本吉◎蔵武館◎冬蓮(難住剣道スポーツ少年団)◎吉根悠輔(松茂中)

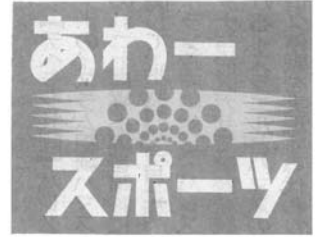
剣道



上位入賞者

◆第51回鳴門市戦没者追悼少年大会 (6月9日) 鳴門市剣道会
▽小学生優学年◎河村美稀(天麻錬成館)◎矢野陽向(天麻錬成館)◎吉田加(天麻錬成館)◎平岡快都(天麻錬成館)◎高学年◎橋本心美(鳴門市光武館道場)◎中村隼人(天麻錬成館)◎南後一穂(天麻錬成館)◎大塚颯大鳴門VJ光武館道場)▽中学生男子◎太賀真(鳴門第一)◎松井悠真(鳴門第一)◎石直樹(天麻)◎板東武蔵(天麻)▽男子◎橋本愛美(鳴門第一)◎豊田聖菜(鳴門第一)

2024年(令和6年)8月12日



剣道



◆第27回徳島中央防犯少年大会

(前列左から) 中川
晃 中西、中崎、武
内 (後列左から) 多
川 中川旺、出口



上位入賞者ら

(6月23日・徳島中央)
①小学生 ①武内通紀(白垂練
心塾) ②中山晃志(徳島少年剣道
心塾) ③中崎正造(白垂練心塾)
④中西進一郎(白垂練心塾)
⑤中学生 ①中川旺亮(徳島少
年剣道心塾) ②多川響吉(白垂練
心塾) ③出口輝葉(白垂練心塾)
◆2024年度小松島管内防犯
少年大会(6月29日・小松島)
▽小学生の坂本海翔(小松島少
年剣道心塾) ②川人大輝(小松島少
年剣道心塾) ③吉田春(和島少年
剣道心塾) ④佐利乃(小松
島少年剣道心塾) ⑤中学生の吉田
希(和島少年剣道心塾) ⑥川
口源太(和島少年剣道心塾)



上位入賞者ら

⑦殿川鉄心(勝中) ⑧増尾純
(和島少年剣道心塾)
◆2024年度徳島県スポーツ少
年選手会(6月23日・北島町武
道館) 所属は「いずれも誠武館道
場」
▽先鋒の部 ①矢野陽希(徳島大新
大文鋒・副将の部 ①村瀬いほ
②中野・大将の部 ①榎栗市(徳光
専) ②徳田京社

2024年(令和6年)8月20日

剣道



上位入賞者ら

◆徳島名西防犯大会(6月30日
・徳島名西)
▽小学生の宮本葉奈(井少年
剣道心塾) ②高橋知輝(松紀和
会道場) ③初光(井少年剣道
心塾) ④野太雅(北井上剣道
心塾) ⑤中学生の徳原珠輪(佐吉
剣道心塾) ⑥龍田彰城(内中
⑦徳原一真(北井上剣道心塾))



(右から) 高野、岩浅、野村

◆第18回若武者杯争奪少年大会
(6月30日・高知県) 青少年セ
ンター)
◇徳島関係の上位
▽団体戦小学生底学年 ①徳島剣
道心塾(高野暁輝、岩浅晴、野村
志)

2024年(令和6年)8月26日

剣道

◆第3回徳島少年選手権・第19
回全日本都道府県対抗少年優勝大
会(6月28日・7月2日) 鳴門ソシ
ョイ武道館)
▽小学1、2年生の岩浅晴(徳
島剣道心塾) ②山田育弥(徳島少年
剣道心塾) ③岩田寛介(徳島少年
剣道心塾) ④中川照大(徳島少年
剣道心塾) ⑤3、4年生の野村拓
未(徳島剣道心塾) ②高野暁輝(徳
島剣道心塾) ③武内菜奈(白垂練
心塾) ④大野紗奈(市場剣道心塾)
▽5年生の岩浅晴(徳島剣道心塾)
②清水春花(徳島剣道心塾) ③増尾
悠(和島少年剣道心塾) ④多
川華音(白垂練心塾) ⑤6年生の
宮武颯詩(徳島聖誠塾) ②高野愛
叶(白垂練心塾) ③山井雄一朗
阿南少年剣道心塾) ④松浦暖白
垂練心塾)
予選会選出者 高野暁輝、岩浅
晴、松浦暖白、清水春花
宮武颯詩と選出された4人が
徳島県代表として全日本都道府県
対抗少年優勝大会(9月大阪府)
に出場

2024年(令和6年)10月21日

剣道

優勝の大家製菓



◆第21回全県大会(9月14日)とくさくモテリッ
 ◇徳島関係の上位所属はすべても大家製菓
 【団体】①大家製菓A



大家製菓は連覇
 「個人」成生勇子の中村隼人③
 富田将太郎③富田尊
 ◆嘉敷市少年錬成大会(9月14日)
 ・水島緑地福田公園体育館
 ◇徳島関係の上位
 ▽小学生低学年①徳島剣道塾A
 (岩崎) 高野真純 湯村雅信
 亀井結之心 野村拓也 ▽中学生
 ②徳島剣道塾 (鹿島大雅 河田淳
 紀 水口新次 藤井陽斗 河田蒼
 生)



小学生低学年(左
 から)湯村雅信
 野村、高野、亀井

中学生(左から)鹿島、河
 田淳、水口、藤井、河田蒼

2024年(令和6年)11月4日

剣道

◆第50回阿北地区大会(9月29日)
 ・兵中中学校
 ①中学校 男子①徳島A 白和
 田端 蝶々理 中山晴亮 六車崇
 汰 徳廣瑛騎 湯川千穂 ②徳島
 B③徳島文通④石井Y女子⑤南部
 (山口 綱葉 柳生夏希 坂井 暉
 山本珠々 多川聖喜) ⑥石井⑦鳴
 門第一 大塚 徳島
 ⑧高校 男子①城北A (多田 健
 人 平松 駿 富田 拓 井上 裕
 真 大台 一 ②城北B③徳島科
 学技術④鳴門渦潮△女子①徳島
 文通A(中村 栞菜 元木 瑠子 谷
 本 真智子 小田 有紗 秋山 鈴奈)
 ②城北③鳴門・坂野④川島

中学校優勝の
 南部と徳島A



高校優勝の徳島
 文理Aと城北A



2024年(令和6年)11月25日



優勝の徳島県
高齢剣友会B

剣道

◆第2回徳島県高齢者大会 10月27日・京都府京大六日裏種アリーナ武道館
◇徳島県関係上位
▽団体①徳島県高齢剣友会B(藤本、吉田、柴田、高木、末本)

2024年(令和6年)12月10日

◆第55回徳島県少年練成大会 11月4日・鳴ノ宮イシイ武道館
▽順位①白亜練心塾△由貴塾 武内晴紀、羽坂紫那、多川華貴、松浦颯
②吉野川少年剣道教室③那賀川剣道教室わかあひ会④徳島剣道塾
◆清原杯争奪第69回県下大会 11月3日・阿南市しんさんアリーナ
【小女子】①徳島剣道塾△清水春花、高橋明里、岩浅詩、水口萌香、高野愛叶、橋本美優、相川穂花
②白亜練心塾③那賀川剣道教室わかあひ会△徳島至誠館
【中女子】男子①那賀川、徳島大雅、柳橋翼斗、水口新汰、河田淳紀、河大生、住友暖、川野翔子、山口環、山本珠々、多川華貴
②鳴門第一、県立川島、山川③徳島④鳴門第一、大塚
【高校】男子①城北△(多田健人、井谷真、平松政樹、高田聖、佐々木、野田宗彦)②岡南△(高野西、城北)③女子④高岡東△(山田利枝、橋岡ひな、高嶋椋子、伊藤寛貴、鈴江海音)②高岡東△(城北)③阿南光
【一般】男子①徳島別荘△(弘田悠人、山崎広貴、岡田佑介、菅朋輝、玉井翔、片岡志、三島拓)②徳島支部△(小松支那△(松尾支那)△女子①川島高剣友会△(野崎まひる、堀井乃花、徳原若葉、三笠志織)②あななん△③佐古剣道クラブ④小松島稽古会

剣道



小学校の上位入賞チーム



中学校女子の上位入賞チーム



中学校男子の那賀川

2024年(令和6年)10月14日

◆第50回記念志士少年練成大会 8月1日・木曜体育館
◇徳島県関係上位
▽団体小生の徳島剣道塾岩浅、集井、水口③小松島少剣友会④和島少年剣道クラブ⑤中学生の徳島剣道塾(鹿島、河田水口)⑥敷中中学校⑦小松島中学校⑧和島少年剣道クラブ
【個人】小学1、2年生①吉岡晴(徳島剣道塾)②藤生慶泰(白亜練心塾)③寒山杏(徳島至誠館)④森本康大⑤山出育弥⑥以上鳴門少年剣道クラブ⑦3、4年生⑧湯村雅治(徳島剣道塾)⑨相川結人(徳島剣道塾)⑩藤井悠心(以上鳴門少年剣道塾)⑪野田大徳(徳島剣道塾)⑫大徳(徳島至誠館)⑬清水春花(以上徳島)⑭松本心(白亜練心塾)⑮山ノ井雄(阿南少年剣道塾)⑯小学1年生①坂口潤(白亜練心塾)②河田淳紀(徳島剣道塾)③橋本大(徳島至誠館)④棚橋翼斗(徳島剣道塾)⑤福田美結(那賀川剣道教室わかあひ会)⑥2年生⑦東根悠(立江剣道教室)⑧廣瀬芽生(新野少年剣道教室)⑨取間賢(宮本成成麻植少剣友会)⑩高瀬葉菜(新野少年剣道教室)⑪平川唯人(未頭中学校)

剣道

◆少年大会(9月8日・徳島市B&C海センター)
▽団体①白亜練心塾佐古剣道クラブ②徳島少年剣道教室、取間賢③松和会
【個人】1年生以下①藤谷雄加(茂多)②佐藤允(松和会)③友成心(徳少)④取間賢⑤石原(徳武)⑥2年生⑦中川照大(徳少)⑧高野愛叶⑨酒巻山照大(白亜)⑩敬園⑪鹿子慶(白亜)⑫3年生⑬平田紗愛(白亜)⑭多田明菜(白亜)⑮小松泰徳(松和会)⑯敬園⑰佐藤千冬(徳武)⑱4年生⑲高橋秀(徳少)⑳加藤大翔(清風塾)㉑武内英志(白亜)㉒敬園⑳坂東(徳少)㉓5年生⑳川華貴(白亜)㉔平野大翔(佐古)㉕鳥翔(酒巻)㉖敬園⑰武内純(加茂)㉗6年生⑰高橋知漢(松和会)㉘松浦(白亜)㉙中江颯志(佐古)㉚敬園⑱武内晴紀(白)

2025年(令和7年)1月13日



剣道

◆第4回徳島県アソシエーション少年団交流大会・第47回徳島アソシエーション少年団交流大会徳島県予選会(1月13日・鳴り)イコイ武道館
 (団体)小学①阿南A(野村 拓実、高橋明里)②徳島清鷺(大西光、那賀川 剣道教室わかあひ会、岩浅詩)③徳島清鷺(武風詩)④徳島清鷺(阿南市C)⑤阿南B(阿南市D)
 (個人)中学校男子①相原健人(蒼武館)②藤原誠(佐吉剣道教室)③阿井輝(阿南少年剣道クラブ)④日和田君(石井少年剣道クラブ)⑤岡安(大木草書(徳島少年剣道教室))⑥橋本慶生(小松島少年剣道クラブ)⑦増尾美織(和田島少年剣道クラブ)⑧若狭花徳(島剣道館)

2025年(令和7年)1月27日

剣道

◆2024年度鳴門市スポーツ祭(1月24日・鳴門市剣道場)
 小学生低学年①河村実悟(天麻錬成館)②矢野陽向(天麻錬成館)③齋藤政斗(鳴門市光武館道場)④中村航斗(天麻錬成館)⑤高学年⑥橋本実(鳴門市光武館道場)⑦中村翔(天麻錬成館)⑧多賀花詩人(鳴門少年剣道教室)⑨野村海(鳴門市武館道場)
 中学生①男子②藤原孝(天麻)③坂東武蔵(天麻)④大倉真(鳴門第一)⑤女子⑥豊田菜葉(鳴門第一)⑦天濤白華(天麻)
 ◆第20回徳島県文化協会青少年大会(協町小学校)
 (小学校)1、2年生①藤原菜葉(春風館)②井喜心(協町)③藤想和(協町)④藤甲世春(風趣)⑤山口誠(春風館)⑥鎌倉半平(半田)⑦河野心哉(協町)⑧5、6年生⑨遠藤大志(協町)⑩八坂大(協町)⑪富田孝(協町)⑫八木翔(協町)
 (中学生)男子⑬松岡金太郎(春風館)⑭北田(明(協町)中)⑮南陽季(協町)⑯重陽陽(半田)⑰植戸栞(半田中)
 (一般)⑱毛誠⑲八木理恵



上位入賞者



徳島春風館の上位入賞者ら

協町剣道教室の上位入賞者ら

2025年(令和7年)2月11日

剣道

◆第12回中国四国地区少年練成大会(2月14、15日・岡山市総合文化体育館)
 ◯徳島関係の上位
 (団体)小学生低学年①徳島清鷺A(野村拓実、水口相奈、湯村雅治、敢闘館)②徳島清鷺B(岩崎、相川純天、相穂花)
 (個人)小学1、2年生男子③岩崎晴(徳島清鷺)④4年生女子⑤相穂花(徳島清鷺)⑥5年生女子⑦岩浅詩(徳島清鷺)⑧3年生男子敢闘館⑨相川純天(徳島清鷺)⑩4年生男子敢闘館⑪村拓実、湯村雅治(以上徳島清鷺)⑫5年生女子敢闘館⑬多川雅音(白亜練心塾)⑭6年生女子敢闘館⑮水口明香(徳島清鷺)⑯中学生男子敢闘館⑰水口新次(徳島清鷺)
 ◆第7回坂本龍馬旗全国少年練成大会(1月22日・高知県青少年センター)
 ◯徳島関係の上位
 △小学生低学年敢闘館⑱徳島清鷺A(野村拓実、高野果穂、湯村雅治、徳島清鷺B)⑲岩崎晴、相川純天、相井結之心(中学生)⑳徳島清鷺A(鹿島大雅、水口新次、河田雅生)



上位入賞チームのメンバー



2025年(令和7年)2月3日

剣道

◆第3回天杯争奪少年大会 12月22日・日本文学アリーナ
 ◇徳島県関係の上位
 △小学2年生以下(鴨島少年剣道教室 森本康太・楊廣輝・山出賢弥 ②養武朝 3・4年生 吉野川少年剣道教室A(二宮碧林・大滝 稻垣健悟 ②誠武道場 ③徳島少年剣道教室 小松最少年剣道クラブ 6年生 ④誠武道場 A 村瀬いろは 梶光南 梶榮也)



上位入賞チームのメンバーら

2025年(令和7年)2月24日

剣道

◆第28回東みよし町東大会 1月16日・ふれあいみよし
 ◇徳島県関係の上位
 △小学1年生以下(吉野川少年剣道教室A(市場剣道教室A(鴨島少年剣道教室A)▽中生勇(鴨島第1中)③場・戒中▽西女子 阿波・山川A) 個人△小学2年生以下(山出賢弥 鴨島少年剣道教室 ②森本康太 鴨島少年剣道教室 ③佐藤璃々奈(吉川少年剣道教室)▽3年生以下(理想(市場剣道教室)▽4年生以下(出朋弥 吉野川少年剣道教室 ②稲垣健悟 吉野川少年剣道教室)▽5年生以下(藤田史(山川スポーツ少年団)修謙 ③吉野祥太 吉野川少年剣道教室)▽6年生以下(金山康大(吉野川少年剣道教室) ②佐藤心人(鴨島少年剣道教室) ③井後七海(鴨島少年剣道教室)▽中学生以下(堂本成(鴨島第1) ②三好琥珀(鴨島第1)▽同女子(坂東珠直(阿波第1) 石叶(阿波) 住友乃々(鴨島第1) 阿波)

2025年(令和7年)3月17日

剣道



優勝の城北OB・A

◆第1回みなと小松島社入大会 (2月24日・小島市体育館)
 △順位の城北B・A(蔵本黒蛇 徳島刑務所) ③わかび龍

2025年(令和7年)3月25日

剣道

◆第29回藤花旗争奪少年大会 (3月1日・石井中学校)
 △団体 ①吉野川少年剣道教室 ②石井少年剣道クラブ ③左古剣道クラブ(鴨島少年剣道教室)
 △個人△1年生以下(藤崎々奈(吉野川少年剣道教室)の笹倉孝允(松紀和会) ③藤山桜(左古剣道クラブ)▽2年生以下(山出賢弥(鴨島少年剣道教室) ②櫻木心晴(誠武朝) ③阿部結人(誠武朝) ④梶輝再(誠武朝)▽3年生以下(口塚々(誠武朝) ②小倉望(北井上剣道教室) ③小川内輝(鴨島少年剣道教室) ④住友(市場剣道教室)▽4年生以下(出朋弥(吉野川少年剣道教室) ②稲垣健悟(吉野川少年剣道教室) ③安藤希(誠武朝) ④櫻木新大(誠武朝)▽5年生以下(徳田(誠武朝) ②佐藤叶人(吉野川少年剣道教室) ③仲野祥太(吉野川少年剣道教室) ④六車友希(兼住剣道スポーツ少年団)▽6年生以下(佐藤心人(吉野川少年剣道教室) ③阿部真(市場剣道教室) ④金山康大(吉野川少年剣道教室)



団体優勝の吉野川少年剣道教室



個人(右から)1年生から6年生の優勝者

剣道

◆第30回徳島市スポーツ少年団交流大会(2月9日)とくまんと七(アリーナ)

【団体】小学生低学年の徳島少年剣道教室の兼武館A(兼武館B)▽高学年(徳島少年剣道教室)佐古剣道クラブA(清東少年剣道教室)

【個人】小学1年生の近藤治雄(加茂少年剣道教室)②石川瞳人(兼武館)③山ノ井亮輔(清東少年剣道教室)④友成心也(徳島少年剣道教室)▽2年生の中川照大(徳島少年剣道教室)②森本美実(兼武館)③住吉中(徳島少年剣道教室)④岩田晋介(清東少年剣道教室)▽3年生小倉悠聖(北井上剣道教室)の藤子冬(兼武館)③川畑啓(徳島清風館道場)▽4年生坂東真(徳島少年剣道教室)②藤原大朗(佐古剣道クラブ)③湯川季琉(徳島少年剣道教室)④加統大翔(徳島清風館道場)▽5年生平野大翔(佐古剣道クラブ)の越智映斗(加茂少年剣道教室)③佐藤雄太(兼武館)④生田新(佐古剣道クラブ)▽6年生川野大雅(北井上剣道教室)②中川晃志(徳島少年剣道教室)③島崎(清東少年剣道教室)④北島弘暲(徳島少年剣道教室)▽中学生の大和智哉(兼武館)②中岡亮仁(徳島少年剣道教室)③岸田敦香(佐古剣道クラブ)④佐藤崇(徳島少年剣道教室)の橋本佳梨(徳島少年剣道教室)③天野羽瑠(徳島清風館道場)



団体戦優勝の徳島少年剣道教室



◆徳島旗争奪第41回少年剣道大会(2月2日)那賀川スポーツセンター

【団体】(徳島)徳島剣道協会A(野村拓、高野祥、岩浅詩、清水春水、水口明彦)徳島剣道協会B(徳島空誠館)小松島少剣道クラブ

【個人】幼年・小学1年の太田

団体の上位入賞チーム



京佑(立江)②佐藤璃々奈(吉野川)③河田真真(剣清)④亀井心縁(剣清)▽2年生の中川照大(徳島)②須見咲月(藍住)③

個人・3年生以下
上の上位入賞者



森本美実(兼武館)③近藤優衣人(北井上)▽3年生の相結人剣清②水口相奈(剣清)③澤田善(至誠館)④露口寧々(誠武館)▽4年生の中川晃(剣清)

個人・4年生以上
上の上位入賞者



上位入賞チームのメンバーら

②矢野陽希(誠武館)③櫻木航(誠武館)④相澤啓(剣清)▽5年生の松本蒼生(振武館)②上原優希(剣清)③本間宗郎(吉野川)④小山一翔(剣清)▽6年生の金山恵大(吉野川)②山ノ井雄朗(阿南)③鈴木真振武館)④藤田竜飛(至誠館)

◆誠武館道場練習会(2月9日)北島町武道館

◆徳島県関係の上位

▽順位の誠武館道場A

居合道



優秀演武賞の受賞者

◆徳島県剣道連盟2024年度県下大会(1月16日)松茂町体育館

▽優秀演武賞 木村瑛、宮本響真、村中柁、尾華裕貴、西岡悠天、西岡利治、山田正徳、山田豊

▽敢闘賞 宮本昂成、木村起真

奨励賞 藤山泰成